

方式・日程	問題番号	出題分野	出題内容
AⅠ方式 1月23日 問題▶p.92~	第1問	細胞	細胞の構造とはたらき、体細胞分裂
	第2問	生殖と発生	ウコの発生
	第3問	遺伝	二遺伝子雑種、三遺伝子雑種、遺伝子の相互作用
	第4問	環境と動物の反応	腎臓の構造とはたらき、尿生成に関する計算
	第5問	環境と植物の反応	植物ホルモン、光合成と環境要因
AⅠ方式 1月24日 問題▶p.96~	第1問	細胞	細胞の構造、細胞と浸透圧、細胞膜による物質の輸送
	第2問	生殖と発生	配偶子の形成
	第3問	遺伝	DNAの構造、遺伝子の連鎖と組換え
	第4問	環境と動物の反応	動物の行動、フェロモン、ヒトの循環系、ホルモンによる調節
	第5問	環境と植物の反応	花芽形成と環境要因
AⅡ・Ⅲ方式 2月8日 問題▶p.99~	第1問	細胞	細胞の発見の歴史、細胞の構造
	第2問	生殖と発生、遺伝	カエル・マウスの発生、配偶子の形成、乗換え
	第3問	遺伝	三遺伝子雑種、遺伝子の連鎖と組換え
	第4問	環境と動物の反応	肝臓の構造とはたらき、反射
	第5問	環境と植物の反応	植物の生活、花芽形成と環境要因
B方式 2月28日 問題▶p.102~	第1問	細胞	細胞と浸透圧、酵素のはたらき
	第2問	生殖と発生	ウコの発生、被子植物の減数分裂と受精
	第3問	遺伝	性決定の様式、伴性遺伝
	第4問	環境と動物の反応	心臓の拍動と自律神経
	第5問	環境と植物の反応	屈性、植物ホルモン
C方式 3月17日 問題▶p.107~	第1問	細胞	酵素のはたらき
	第2問	生殖と発生	発生のしくみ
	第3問	遺伝	一遺伝子雑種、DNAの構成単位、バクテリオファージの実験
	第4問	環境と動物の反応	ヒトの血糖量調節
	第5問	環境と植物の反応	蒸散と環境要因、植物ホルモン

傾向 難易度は基礎レベルであるが、実験考察問題も出題される。

① 出題形式

大問5問の構成で、解答方式はAⅠ、AⅡ・Ⅲ、Bはすべてマークシート方式、Cはすべて記述方式である。

出題形式はAⅠ～Ⅲ、Bは語句選択・数値選択・組合せ選択・文章選択など、Cは文章選択・文章記述・語句記述・数値記述などとなっている。

② 出題内容

細胞、生殖と発生、遺伝、環境と動物の反応、環境と植物の反応の各分野からバランスよく出題されている。

③ 難易度

各方式とも、基礎レベルを中心に出题されているが、図表のデータを読みとる実験考察問題なども出題されている。

対策 入試に備えるため、教科書の内容を理解し、多数の演習問題をこなそう。

① 教科書の内容をきちんと理解しよう

基礎的な内容が多く出題されているため、まずは教科書に出てくる太字の用語をおさえよう。用語は単に暗記するのではなく、用語からその意味を説明できるようにしておきたい。そのうえで教科書を読み、流れを押さえよう。その際、図も合わせて確認しておくとう理解が深まる。

また、教科書で扱われている実験や観察の内容を理解し、結果や考察についてそれぞれ整理しておこう。

② 実験の結果や考察を読みとる力をつけよう

入試では目新しい実験考察問題が出題されることがあるが、

設問文を読みとることができれば対応できることが多い。設問文が複雑でも、順を追って図や表にし、内容を整理していくと理解しやすくなるので、文章を図や表で表すことができるようにしておくとういだろう。また、グラフや表などのデータが示す意味を考察できる力をつけておきたい。

③ 多数の演習をこなして入試に備えよう

入試の設問文や文章の選択肢を読むには読解力が必要となるので、問題集で多数の演習をこなしておきたい。また、試験時間内にすべての問題が解けるように、模擬試験や過去の入試問題で時間配分を練習しておくとうい。